

## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。51歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在3期目。



## 市民の声を届ける、真剣勝負の論戦

3月18日、公明党市議団を代表して8年度予算案に対する連合審査会に登壇し、皆さまから頂いたご相談・ご要望を基に、14項目35問にわたる質疑を行い、各施策の前進につながる、多くの前向きな答弁を頂きました。以下、抜粋してご報告します。

横浜市会インターネット中継もご覧ください

横浜市会中継

検索



## デジタル技術を活用した地域防災拠点運営を

地域防災拠点のデジタル化を要望。「待たない」「書かない」受け、円滑な支援物資配布の実現、マイナンバー情報等の活用による避難者の病歴等に応じた医療・介護支援にも対応できる仕組みが求められます。また新たに構築するウェブサイトでは、各区局それぞれが提供していた防災情報を一元的にとりまとめ、平常時には防災学習や補助金等の内容、災害時には避難情報や支援物資等の情報発信など、状況に応じてトップページを切り替えるなど、利便性が高いものにするとの答弁がありました。

## 各家庭での災害への備えを後押し

大規模災害時の人的・物的被害の軽減へ、公明党として一貫して感震ブレイカー設置・家具転倒防止対策の充実を求め、着実な前進が図られてきましたが、市長より感震ブレイカーの補助対象機器を拡大、家具転倒防止器具の補助対象を全世帯に拡大するなどさらに取組を強化する旨の答弁がありました。

### 感震ブレイカー / 家具転倒防止器具 設置を促進!

- ・購入費用を重点地域で100%、その他地域で50%補助
- ・高齢者世帯等には取付支援も



申請件数が  
大幅に増加

感震ブレイカー	6,610件	(前年度の2倍)
家具転倒防止器具	794件	(前年度の3倍)

## 高齢者や低所得者の方などを夏の暑さから守る

**質問** 近年の夏の暑さは、命の危険に直結するレベルであり、エアコンの買換え・購入が難しい高齢者や低所得者の方へ、エアコン購入助成を始めとする夏の暑さ対策の支援を検討すべきです。

**市長答弁** 市民の生命と健康を守るため、ご指摘を参考に有効な暑さ対策を検討していきます。

## 地域に出向いた各種デジタル手続きの支援を

**質問** 近年、多くの行政サービスにデジタル技術が導入され、手続きの迅速化など市民の利便性向上が図られる一方で、デジタル機器を使いこなすことが難しい方が、その恩恵を受けられないことが無いよう、地域に身近な場所で支援を行う必要があります。

**市長答弁** 行政による支援とともに企業やNPO、地域団体など多様な主体との協働で、地域の身近な場所で手続きの相談や支援が受けられるよう取り組めます。

## 子どもたちの安心な学校生活のために

### 医療と教育の連携で日常的に心をケア

横浜市大と連携したメンタルケアの提供で、子どもたちの安心な学びの環境をつくる「横浜モデル」について、教育長より8年度はモデル実施校を2→18校へ拡大し、全校実施に向けた効果的な方法を検証するとともに、データを活用し子どもたちのセルフケアにもつながる取組を進めるとの答弁がありました。

### 特別支援教育支援員を着実に確保

発達障害など学習や移動支援が必要な子どもたちを支える特別支援教育支援員の不足解消へ、公明党から待遇改善を求め、令和6年度から謝金単価を1,000円に増額。支援員の配置時間が5年前と比較して31%増の約30万時間と急増する中でも、2,500名の支援員を確保し、児童生徒の支援に重要な役割を果たして頂いているとの答弁がありました。

### 全ての特別支援教室に専属の支援員を配置

学習のつまずきや、不登校など、様々な悩みに寄り添った支援を行う特別支援教室の強化を要望。教育長より全校の特別支援教室に非常勤講師等を配置し、教職員の専門性向上を図る研修を実施するとの答弁がありました。

## 放課後児童クラブの活動を細やかに支援

**質問** 夏休み中など、酷暑の中も活動場所が確保できるよう、地区センターなどを児童クラブが優先的に利用できるような運用も検討して頂きたい。

**こども青少年局長答弁** 企業等と連携した屋内で開催するプログラムの提供に加え、空調のある体育室などの施設情報も広く案内して、子どもたちが暑い夏を楽しく過ごせるよう取組めます。

**質問** 不登校生徒の朝からの受入れなど多様なニーズに応じるためのクラブへの支援を検討して頂きたい。

**市長答弁** ご指摘を踏まえ、クラブ・児童・保護者の皆さまの声を丁寧に伺いながら、市として出来ることを全力で進めていきます。

## 教職員の安心な職場環境の確保へ

予算代表質疑で公明党市議団・斉藤団長から、保護者などからの過剰な苦情などカスハラ対策に関する要望を行ったことに続き、私からは先輩・同僚教員などからのパワハラ対策を要望。ハラスメントへの感度と意識を向上する管理職への研修、教育委員会による早期介入、被害を拡大しない迅速な調査など求め、教育長からはそれぞれ専門家の助言を活かしながら迅速・適切に対応できる体制整備に取組むとの答弁がありました。

# 皆さまの声を「カタチ」に

## 野島公園(室ノ木地区)に時計を設置

子どもたちが「いま何時だろう?」と不安にならずに安心して遊べるように…とのママさん方からの願いがカタチになりました。



## GX(脱炭素社会実現)の取組み加速へ

3月17日、桐蔭横浜大学医用工学部の宮坂力特任教授を講師に招き、脱炭素社会の実現を目指す横浜市議員連盟による研修会を開催。横浜で生まれた次世代エネルギー技術として期待されるペロブスカイト太陽電池について、その開発者として、早期の社会実装に向けた取組の現在地と課題を講演頂きました。

## 皆さまに届く広報へ YouTubeでの市政・活動報告を充実

### 市政報告「たけチャンネル」配信中!

2024年12月からスタートし、毎月、最新の市政情報や公明党市議団の実績などを発信しています。

### たけ《サブ》チャンネルも始動

第一弾は市会議員の休日。私の大好きな海釣りに密着して頂きました。横浜市民の貴重な財産である、豊かな海を体感、満喫。多彩な活動の側面もお伝えできるよう、今後も随時発信していきます。



市政報告  
「たけチャンネル」  
YouTube配信中!



### 公明党市議団の YouTube チャンネルも始動



公明党横浜市議団の議会・市政報告「ボイスヨコハマ」を中心に分かりやすく解説しながらお届けします。皆さま、チャンネル登録よろしくお願ひ致します。



Voiceよこはま  
公明党横浜市議員団  
YouTubeサイト



## 短 信 ◀ 市民の皆さまと共に



### 地域の賑わいの輪の中へ

3月も金沢区内では餅つき、お花見、防災など多くのイベントを開催。私も各地へ伺い、皆さまとの楽しい交流のひと時を過ごしました。



▲金沢シーサイドタウン青少年指導員主催もちつき体験イベント(3月1日)



▲富岡西公園で「たたた文化祭」(3月14日)



▲県立金沢支援学校小学部・中学部卒業式(3月13日)



▲六浦さくら祭り(3月22日)

### 賑わいの金沢漁港海産物フェスタ

暖かい晴天に恵まれて、多くの皆さまが来場。横浜こどもホスピスのチャリティ販売もスタート前から長蛇の列で、約1時間で完売しました。



### 全国に誇る医師会・歯科医師会・薬剤師会の連携



▲金沢区三師会休日急患診療所

2月28日、金沢区三師会創立50周年、訪問看護ステーション創立30周年、在宅医療相談室創立10周年の合同記念式典を開催。昨年10月には、地域の安心・安全を守る「金沢区三師会休日急患診療所」もリニューアルオープンしました。

### 地域の安心を支える献身に感謝!



3月8日、金沢区福祉保健のつどい。社会福祉功労者の皆さまへの表彰と感謝の式典、第二部では「金沢ささえあいプラン」シンポジウムが盛大に開催されました。

たけのうち猛  
オフィシャルサイト  
takenouchi-takeshi.com



f <https://www.facebook.com/takenouchit/>  
X [https://twitter.com/takenouchi\\_t](https://twitter.com/takenouchi_t)

たけのうち猛  
LINE  
お友達登録はこちら▶

